校長室から ひがしなら通心

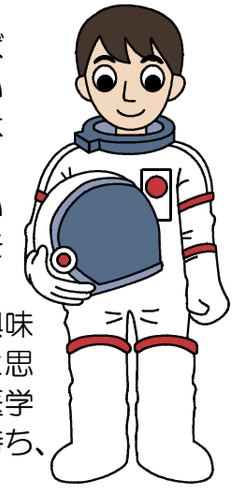
（Ｈ２９年度）

茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．４９

平成３０年３月１日（木）発行

何事にも興味をもって

２０１７年１２月、宇宙飛行士の金井宣茂（かないのりしげ）さんが国際宇宙ステーションに向けて飛び立ちました。日本の実験棟「きぼう」のなかで様々な実験や研究を重ね、地球上にもレポートを送ってくれています。宇宙空間では身長が伸びたという話もテレビなどで話題になりました。宇宙で半年間も生活するなんて、驚きますよね。

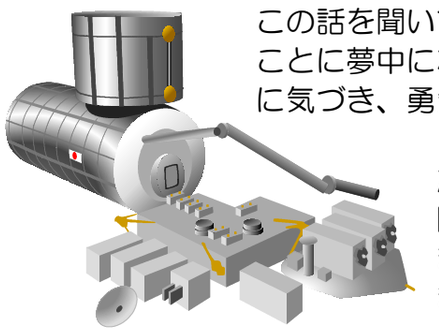


将来の夢は一人ひとり違います。サッカー選手の人もいればパティシエの人もいます。なかには宇宙飛行士になりたいという人もいるかもしれません。そんな人にとっては、金井さんは憧れの存在かもしれませんね。

しかし、金井さんは、子どもの頃から宇宙飛行士になりたいと思っていたわけではありません。はじめは、船で世界各地を回る「船医」というお医者さんになりたいと思っていました。でも、船医になろうと勉強していくうちに、ほかのものにも興味がわいてきて、潜水医学という分野のお医者さんになりたいと思ったそうです。さらに勉強をしていくうちに、宇宙空間での医学に興味を抱き、そして最後に宇宙飛行士という職業に興味を持ち、そこから猛勉強をして宇宙飛行士になったそうです。

一つの目標や夢に向かって突き進むのは大変素晴らしいことです。でも、「将来何になりたいですか？」と聞かれたときに、すぐに答えられるほど明確な夢を持っているわけではないかもしれません。

金井さんは、次のようなことを話していました。「そのときそのとき、興味があることを頑張っているうちに、新しい世界が開けてきたように思います」。この話を聞いて、今を一生懸命に生きること、興味を持ったことに夢中になって取り組むことがとても大切だということに気づき、勇気と安心をもらいました。



興味を持ったことや気になったことをメモしたり調べたりしていくうちに、新たな発見や疑問がわいてきます。今年度最後の１ヵ月となります。普段の学習でもそんな探求的な学びができるとよいですね。

子どもの「ＬＩＮＥ依存」が問題に！

子どものスマホ所持率が急増しています。そしてそれに伴うトラブルも問題になっています。アイフォン開発者であるスティーブ・ジョブズ氏は、自分達の子供には一切、スマホもタブレットも与えなかったそうです。所持するかは、ご家庭の判断ですが、子どもとのルールは絶対に必要だと思います。

アメリカのお母さんが子どもに渡した使用契約書です。ネットで見れます。

～初めてスマホを持つ子どもへ「１８の約束」～



1. これは親のスマートフォン。親が買って、あなたに貸しているから、親の言うことをよく聞くこと。
2. パスワードは必ず親に教えること。
3. 「母」や「父」の電話には必ず出ること。
4. 電源を入れるのは朝７時半から。夜は学校がある日は１９時半に、週末は２１時に、電源を切って電話を返す。
5. 学校に持っていくのは禁止。友達とは面と向かって話をすること。面と向かって言えないことは、メールしない。
6. 落として壊したり、失くしたら、自分のお金で修理・弁償する。お金が必要になるから、おこづかいを貯めておくこと。
7. これで人を騙したり、馬鹿にしたりするのは禁止。誰かを傷つけるような会話には入らないこと。
8. 人に面と向かって言えないことを、メールしない。
9. 相手の親の前で言えないようなことは、メールしない。
10. インターネットは親と一緒に見られるようなものを見る。何か知りたいことがあったら、人に聞くこと。できれば母か父に。
11. 公共の場では電源を切るか、マナーモードに。
12. 体の大事なところの写真を送ったり、受け取ったりしてはだめ。
13. 写真やビデオはたくさん撮らないこと。それよりも経験を大切に。
14. ときどき電話は家に置いて行きなさい。携帯なしで生活することが大事。なくなるのを恐れないで。
15. 最新曲やクラシックなど、たくさん音楽をダウンロードして、同じものをずっと聴くより様々な音楽を聴いて。
16. ゲームは言葉遊びやパズル、脳トレだけ。
17. 常に上を向いていること。周りの出来事に目を向けること。窓の外を見ること。鳥の声を聞くこと。外を歩くこと。知らない人とも話をすること。グーグルで検索しないで感動できることを探しなさい。
18. 約束を破ったら携帯電話を取り上げる。そうなったら話し合い、一からやり直し、一緒に学んでいきましょう。